

まちづくりに関するアンケート 調査結果の概要

1. 調査計画概要及び回答者の属性
2. 日常の生活行動について
3. 施設整備について
4. 自然環境、歴史・文化資産について
5. 市内の景観について
6. 都市計画マスタープランへの参加意識について
7. 将来、望まれるまちのイメージについて

1. 調査計画概要及び回答者の属性

1. 調査計画概要及び回答者の属性

【調査計画概要】

項目	内容
調査期間	平成19年10月1日～30日
対象者	館山市内在住の市民(全世帯:約21,000世帯)
調査内容	まちづくりに係る設問を主体とし、現状の住民意識を分析
有効回収票数	1,402票(約6.7%)

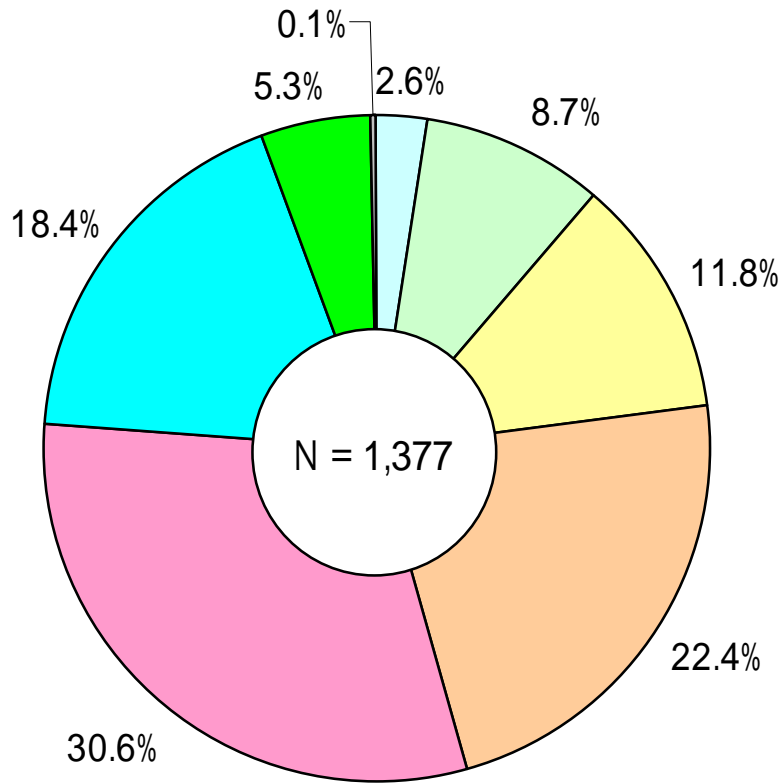
【回答者の属性】

区分	属性状況
性別	男性が45.9%、女性が54.1%
年齢構成	60歳代が30.6%と最も多く、次いで50歳代が22.4%
住まいの地区	那古・船形地区:17.6% 北条地区:28.5% 館山地区:27.1% 豊房・館野・九重地区:13.4% 西岬・神戸・富崎地区:13.4%
職業	無職が30.9%と最も多く、次いで専業主婦が19.5%

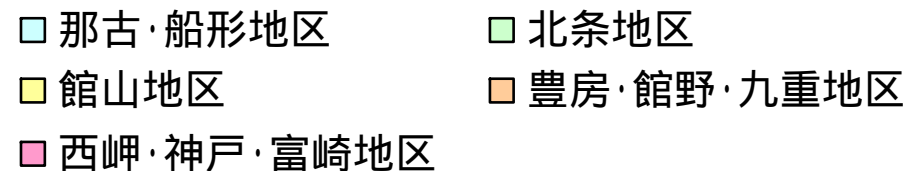
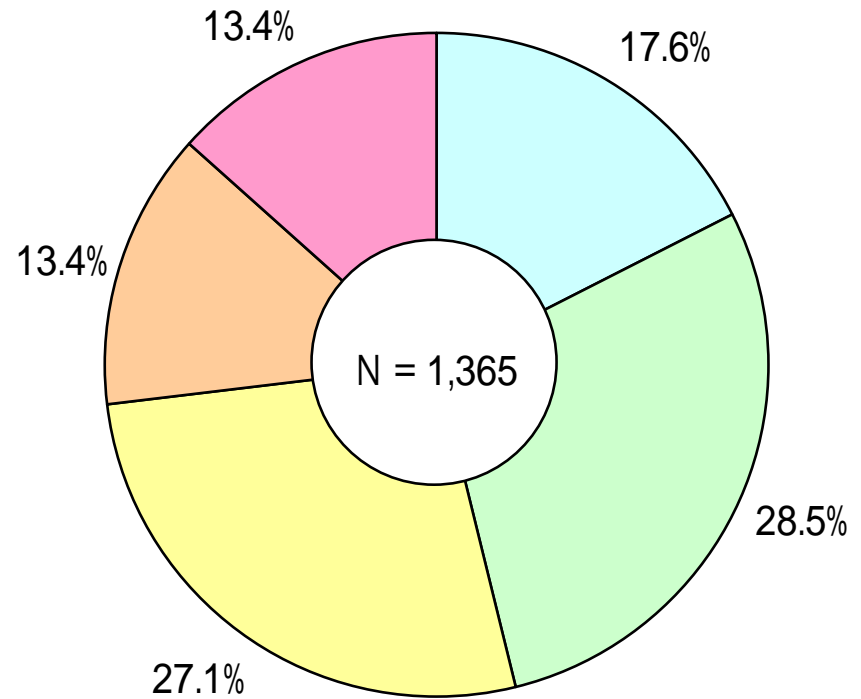
1. 調査計画概要及び回答者の属性

60歳代が約31%、50歳代が約22%であり、若年層よりも高くなっています。

年齢構成



住まいの地区



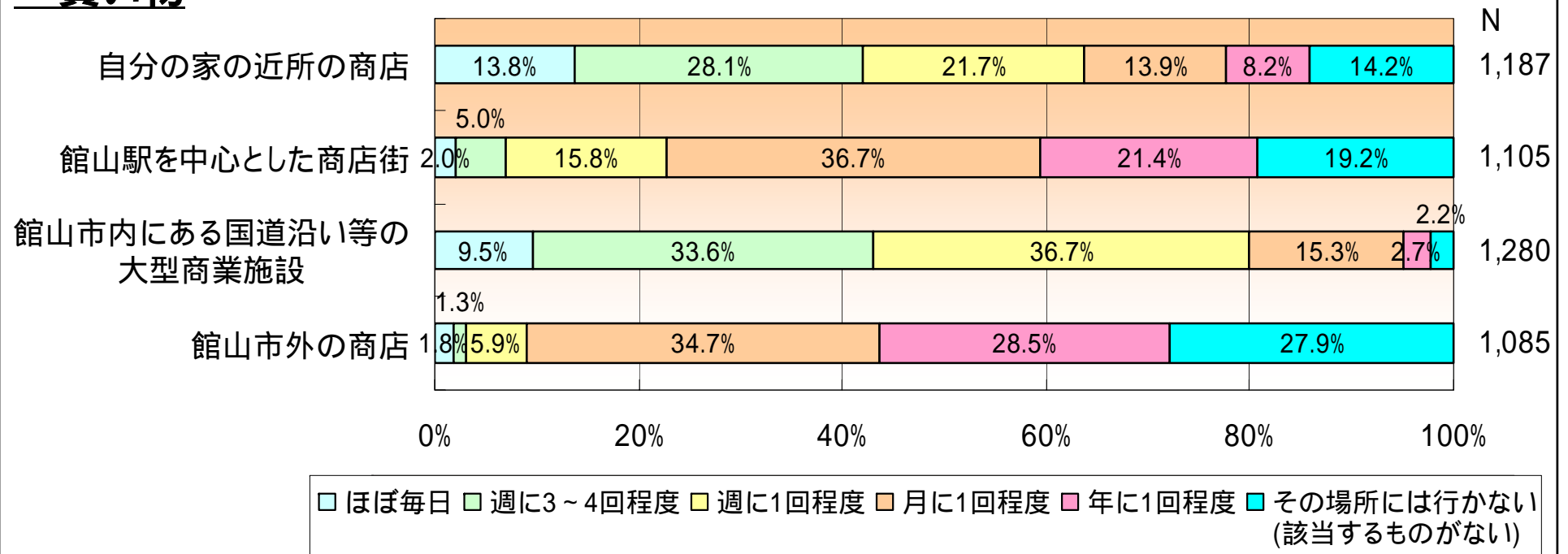
2. 日常生活行動について

2. 日常の生活行動について

【頻度】

『近所の商店』や『市内の大型商業施設』で週に3回以上買い物する人が半数近くを占めています。

買い物

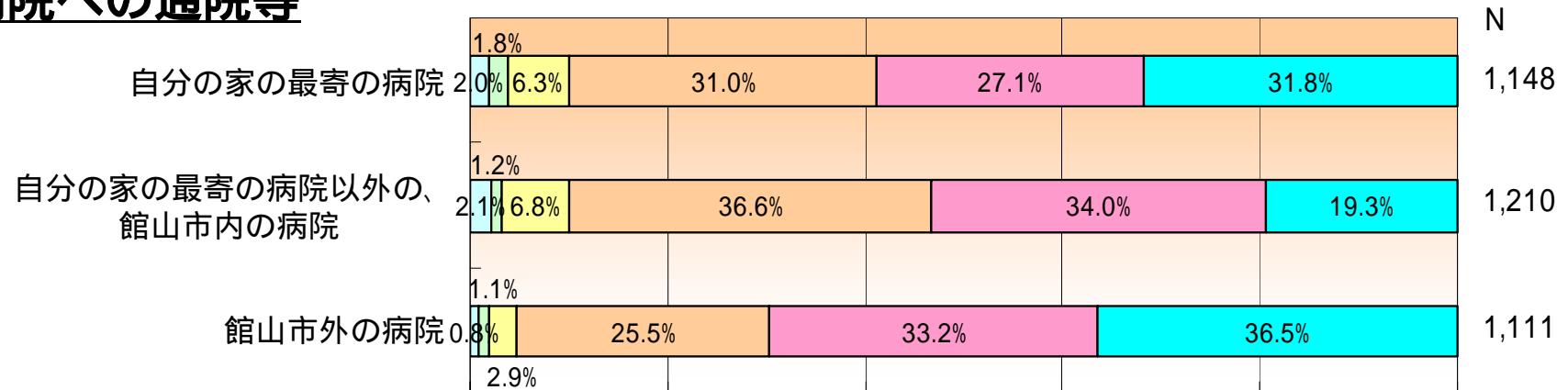


2. 日常の生活行動について

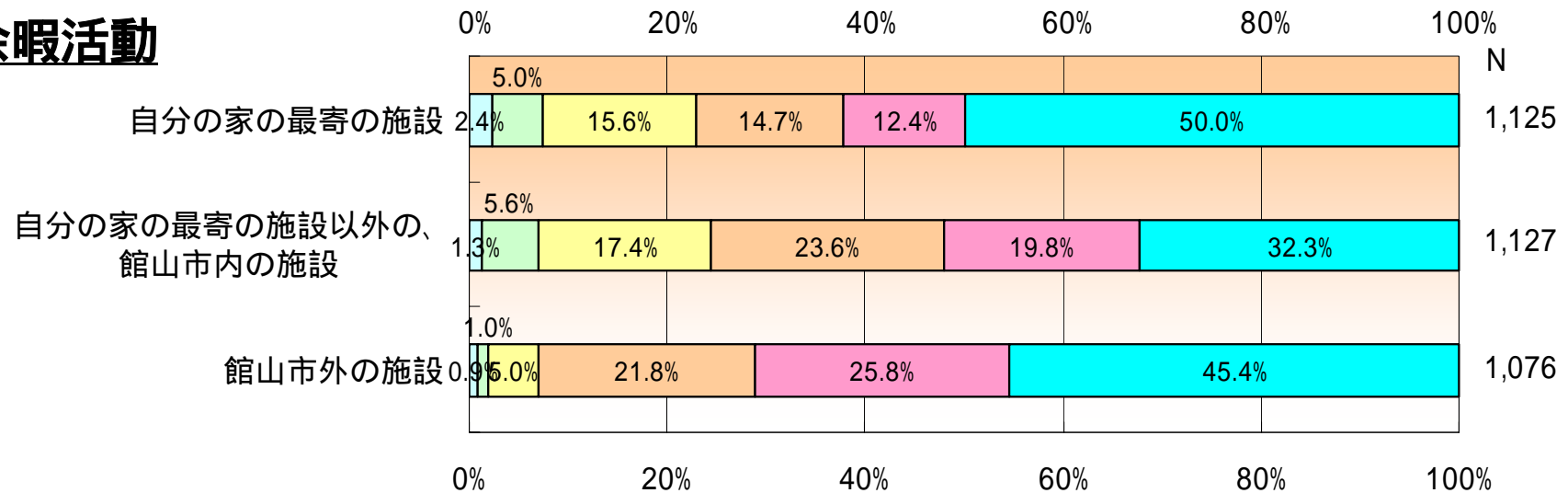
【頻度】

いずれの施設も頻度は低くなっています。

病院への通院等



余暇活動



ほぼ毎日
 週に3~4回程度
 週に1回程度
 月に1回程度
 年に1回程度
 その場所には行かない (該当するものがない)

2. 日常の生活行動について

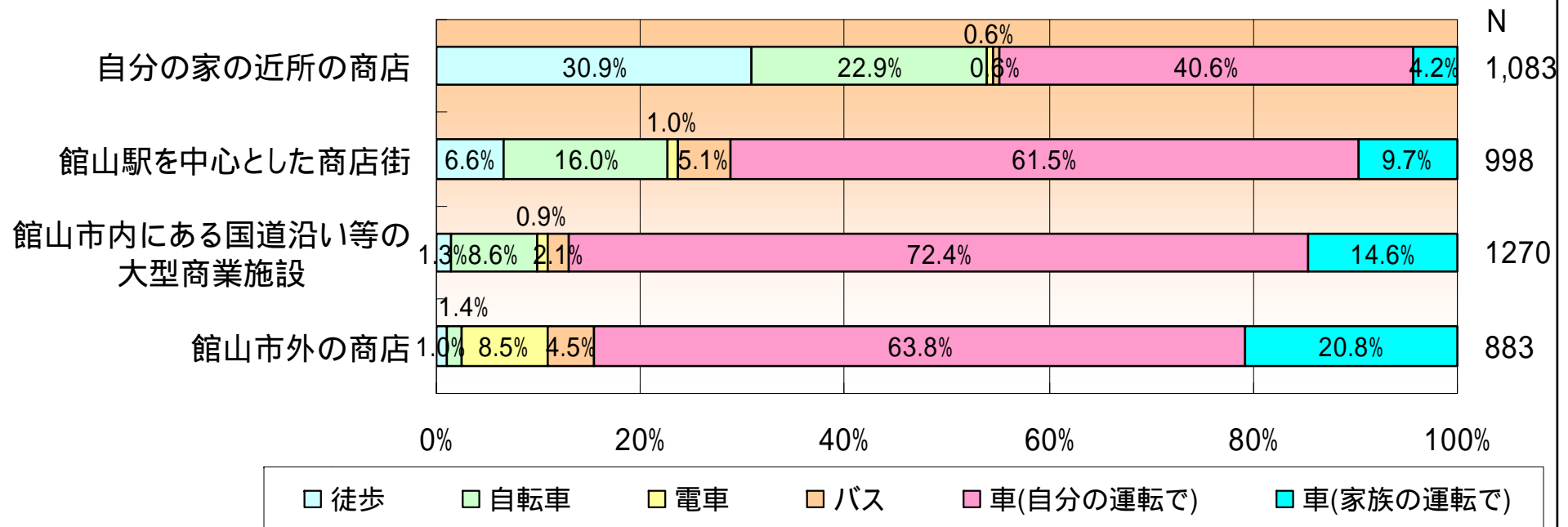
【交通手段】

買い物については、『近所の商店』の徒歩や自転車の割合が半数以上を占めています。

いずれの商店においても、車(自分の運転で)の割合が高くなっています。特に市内の大型商業施設では、72.4%を占めています。

病院への通院等や余暇活動においても同様の傾向となっています。

買い物



2. 日常の生活行動について

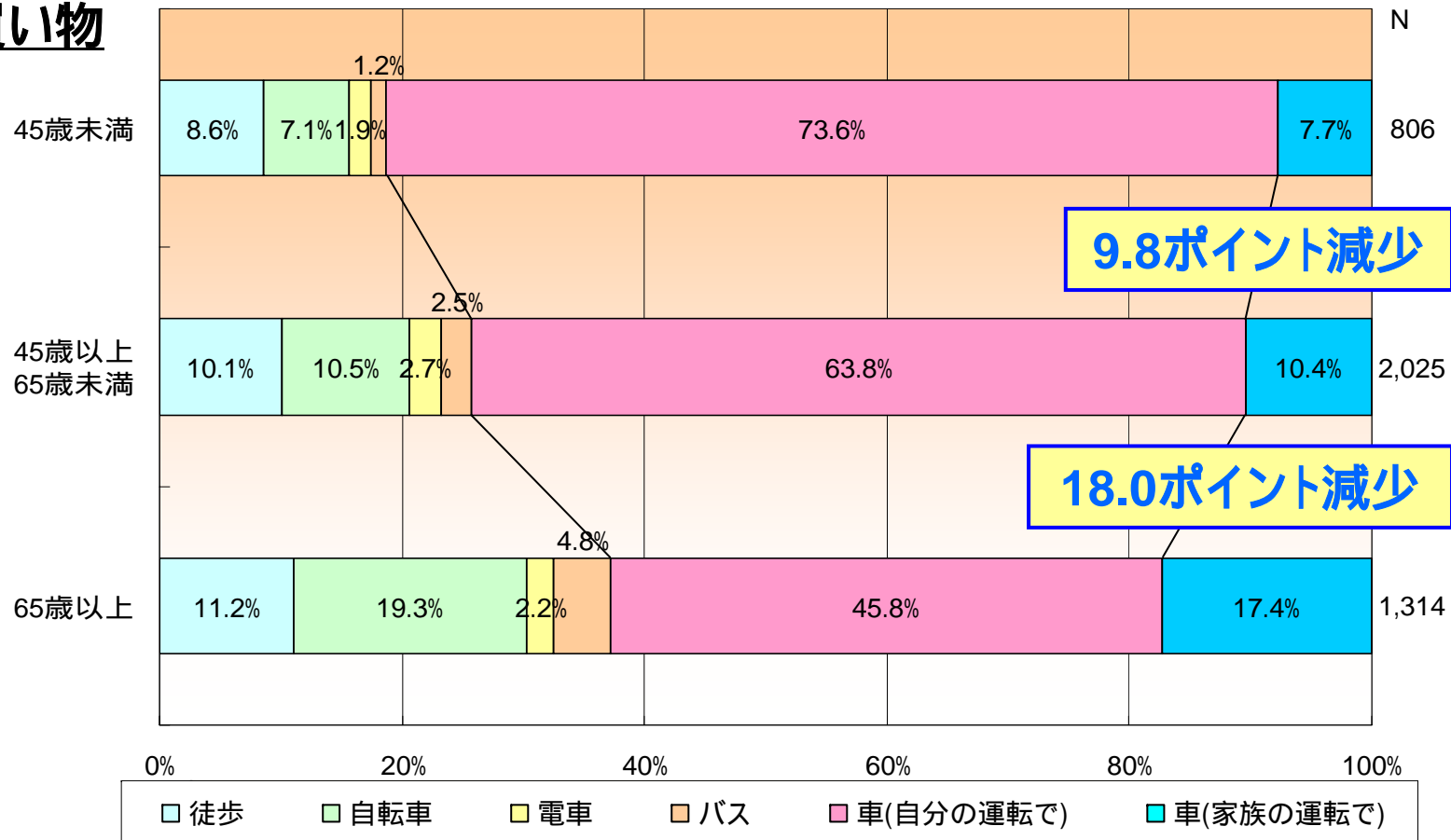
【年齢階層別交通手段】

年代があがるにつれて、『車(自分の運転で)』が減少し、他の交通手段に転換しています。

年代があがるにつれて、公共交通(電車・バス)の割合は増加傾向にありますが、増加率は少なく、利用されずらい傾向にあります。

病院への通院等や余暇活動についても同様の傾向となっています。

買い物

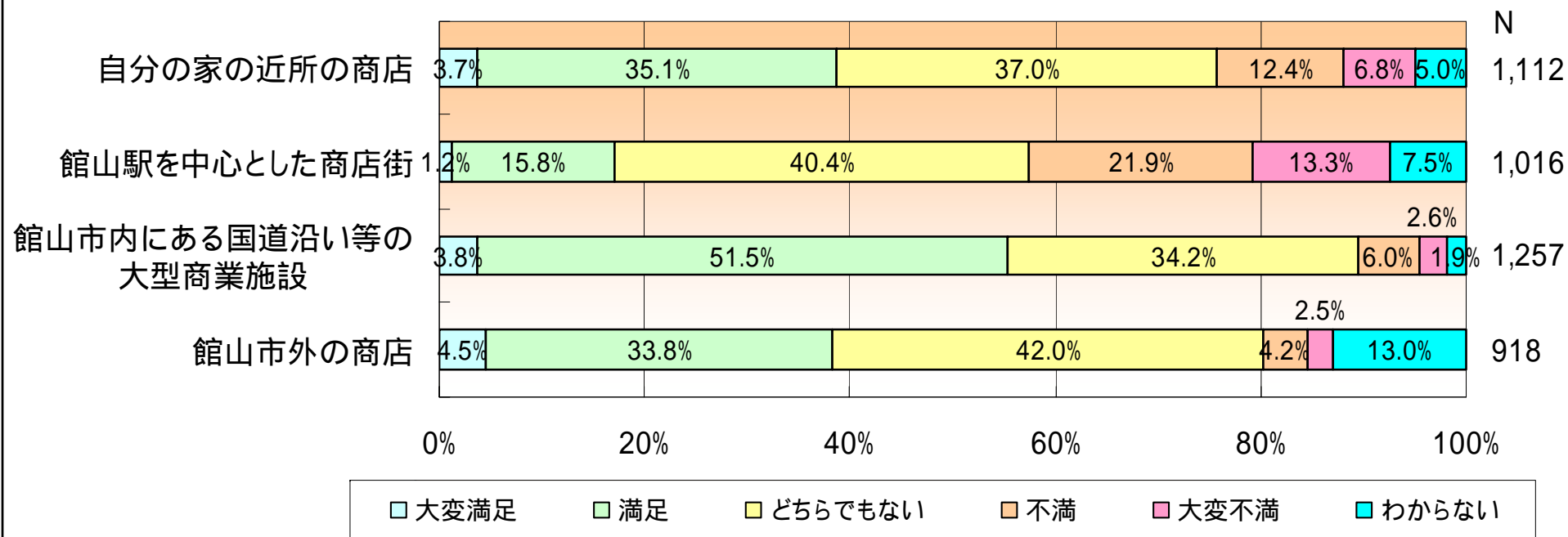


2. 日常の生活行動について

【満足度】

『近所の商店』『市内の大型商店』『市外の商店』では30%以上の人々が満足しているのに対し、『館山駅を中心とした商店街』では30%以上の人々が不満を感じています。

買い物

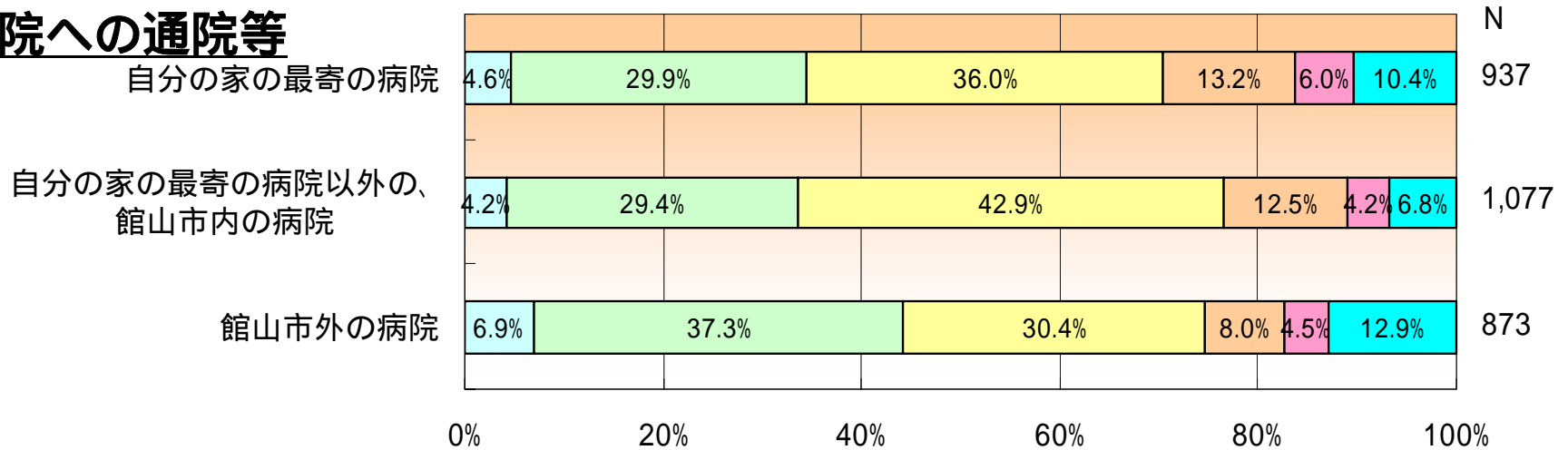


2. 日常の生活行動について

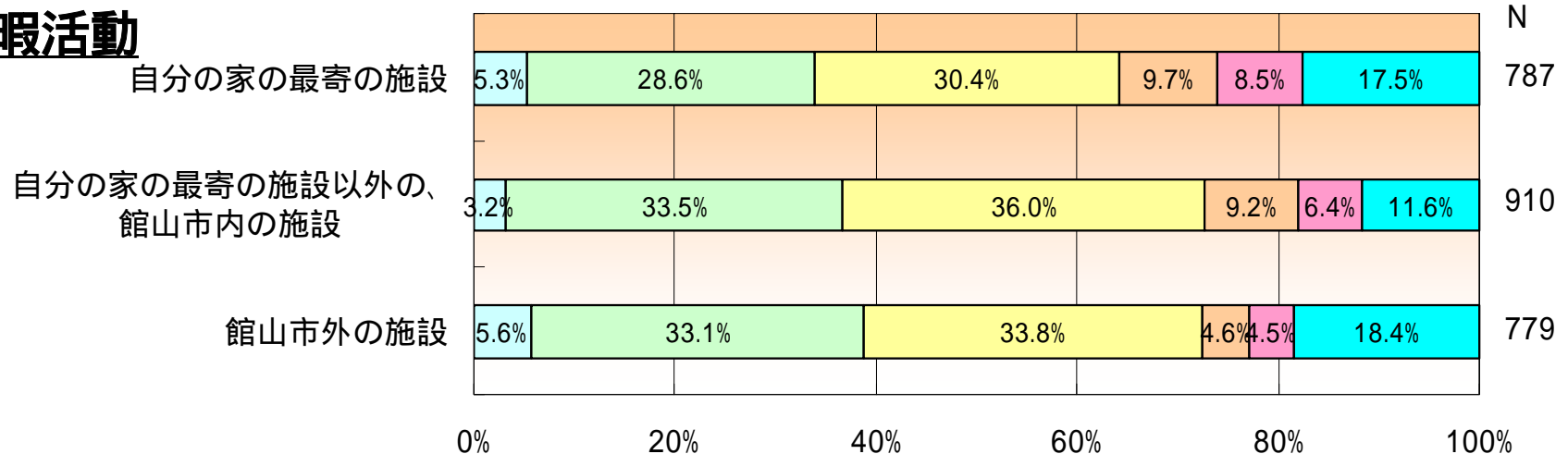
【満足度】

いずれの病院も30%以上の方が満足しています。特に『市外の病院』が最も多くなっています。

病院への通院等



余暇活動



■ 大変満足
 ■ 満足
 ■ どちらでもない
 ■ 不満
 ■ 大変不満
 ■ わからない

2. 日常の生活行動について

【買い物についての意見】

現在、主要な移動手段は車となっていますが、将来的に自分で運転できなくなったときの移動手段に対する不安を感じています。

全体

出された意見(上位5つ)【総意見数:560】	意見数
不便なバス、将来的に車を運転できなくなった後の移動手段に対する不安等	84(15.0%)
近くに商店がない	66(11.8%)
館山駅周辺の商店街の活性化	55(9.8%)
地元商店に駐車場がない(館山駅周辺商店街を含む)	53(9.5%)
買い物に歩きや自転車で行ける安全な道路	21(3.8%)

2. 日常の生活行動について

【病院への通院等についての意見】

安房医師会病院に対する要望が最も多くなっています。次いで、買い物と同様移動手段に対する不安を感じていることがうかがえます。

全体

出された意見(上位5つ)【総意見数:605】	意見数
安房医師会病院の機能充実	124(20.5%)
不便なバス、将来的に車を運転できなくなった後の移動手段に対する不安等	55(9.1%)
総合病院の設置	40(6.6%)
近くに病院がない	25(4.1%)
救急医療体制の充実化	24(4.0%)

2. 日常の生活行動について

【余暇活動についての意見】

全体では、市内に楽しめる施設がないという意見が最も多くなりました。やはり、移動手段に対する不安が上位になっています。

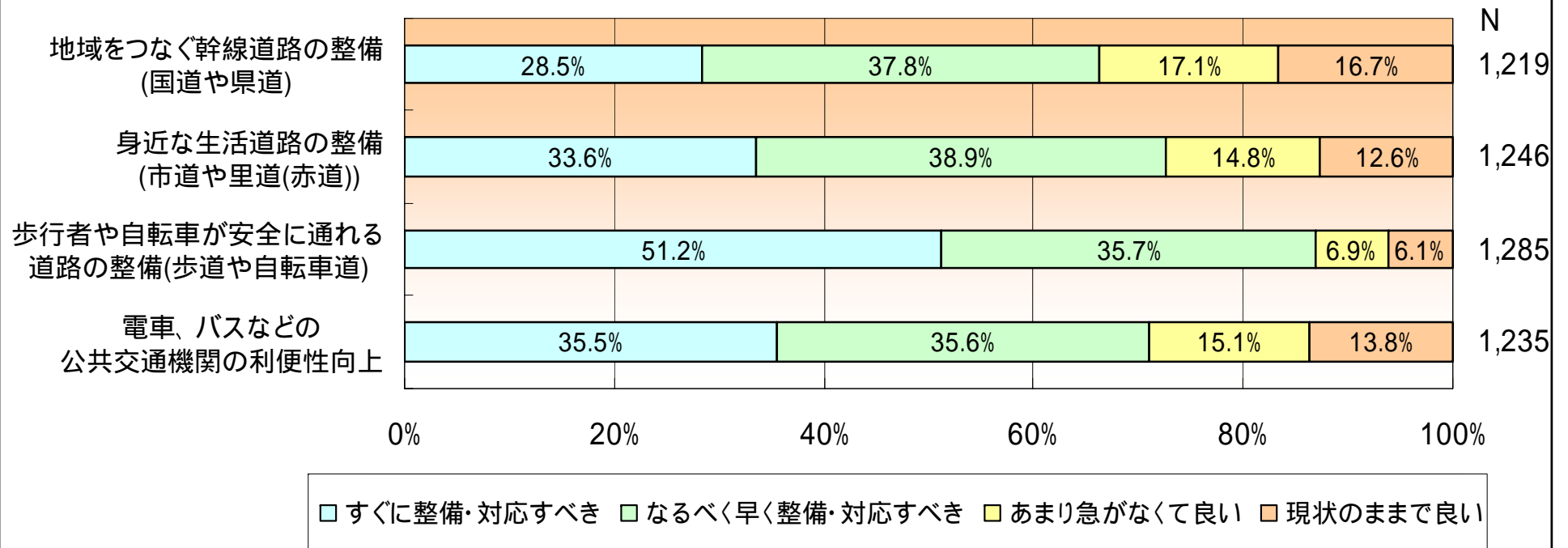
全体

出された意見(上位5つ)【総意見数:442】	意見数
楽しめる施設がない	70(15.8%)
スポーツ施設やコミュニティ施設があれば良い	44(10.0%)
公園をもっと増やしてほしい	26(5.9%)
映画館の設置	23(5.2%)
不便なバス、将来的に車を運転できなくなった後の移動手段に対する不安等	19(4.3%)

3 . 施設整備について

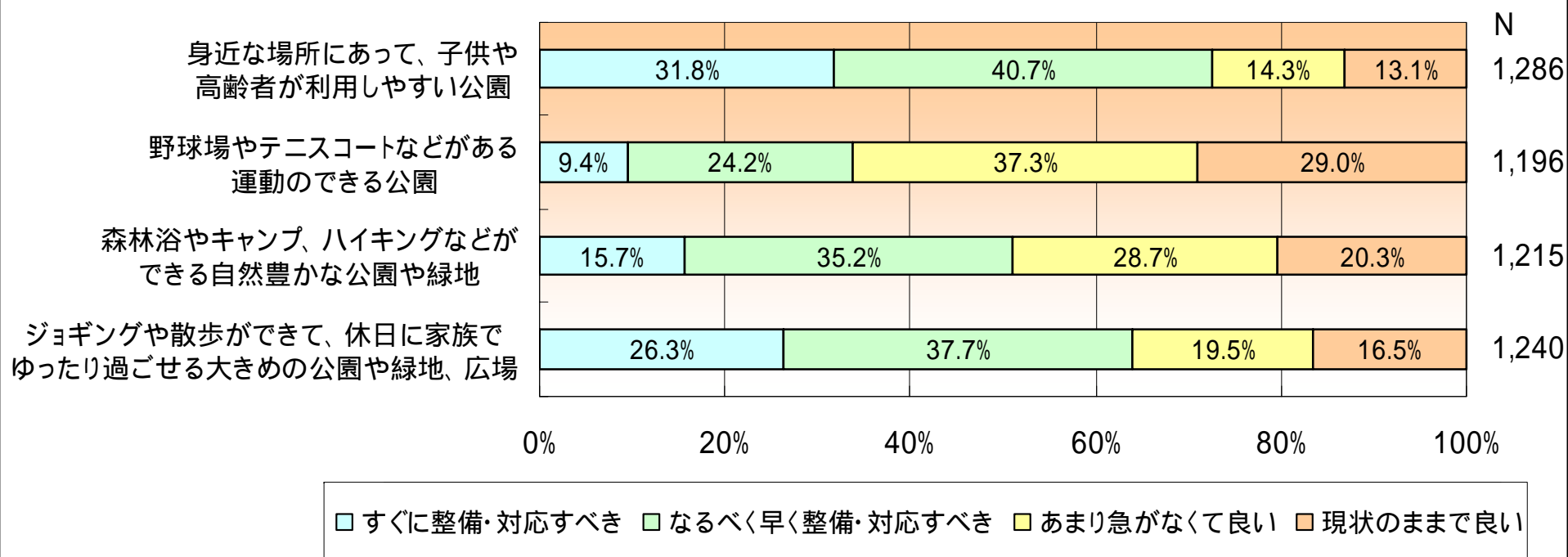
3. 施設整備について(道路・交通施設)

道路・交通施設に関して、十分な満足を得られていないことがうかがえます。特に、歩道や自転車道の整備に関しては早急な整備・対応が望まれています。



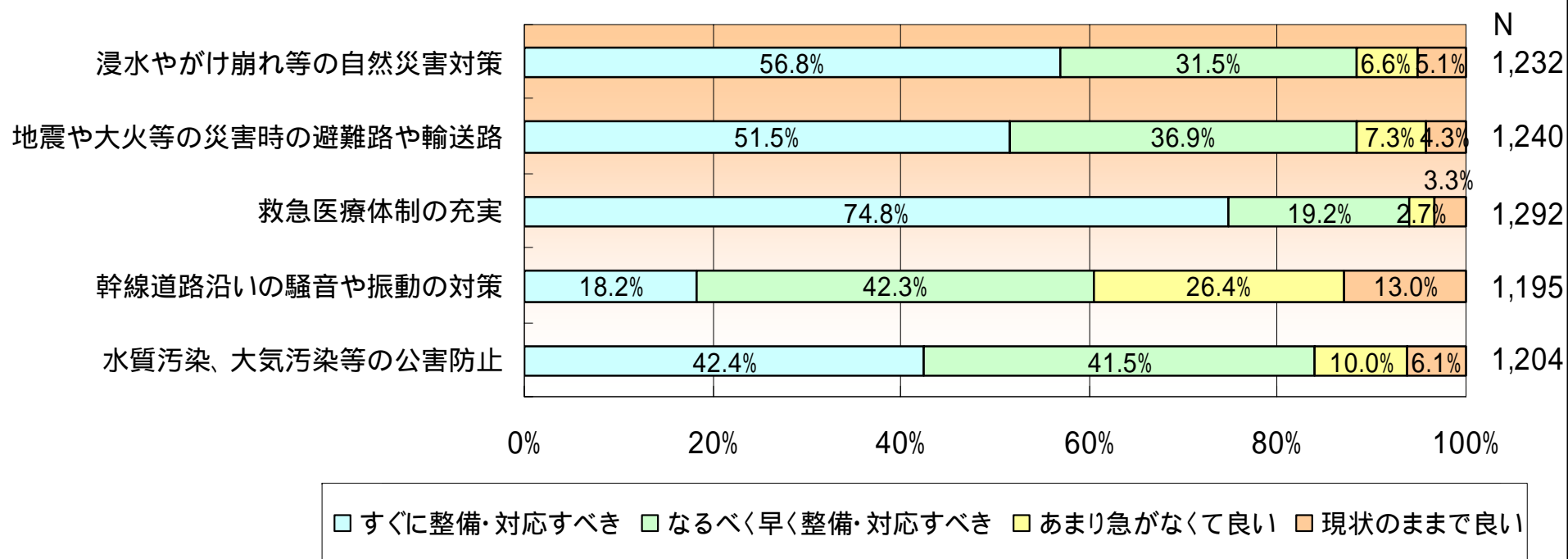
3. 施設整備について(公園・緑地)

『身近に利用しやすい公園』や『ゆったり過ごせる大きめの公園や緑地、広場』に関して、整備・対応が望まれています。



3. 施設整備について(防災・生活環境)

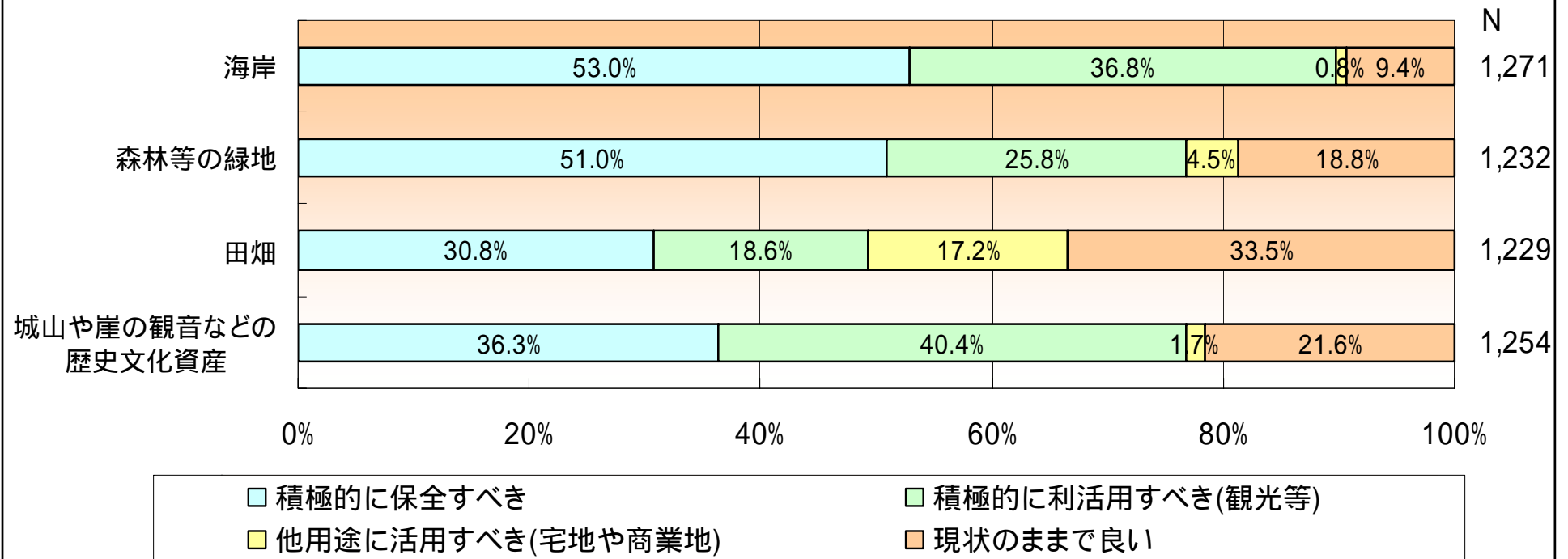
防災・生活環境に関して十分な満足が得られていないことがうかがえます。特に『救急医療の充実』の早急な整備・対応が望まれています。



4 . 自然環境、歴史・文化資産について

4. 自然環境、歴史・文化資産について

『海岸』や『森林等の緑地』は積極的な保全が望まれています。また、『歴史文化資産』に関しては積極的な利活用を望む意見が多くなっています。



5 . 市内の景観について

5. 市内の景観について

『鏡ヶ浦に沈む夕日、富士山』とする意見が最も多く、次いで『海や海岸線』『城山公園、館山城』となりました。

『海岸のゴミや沿岸の建物』が最も多く、ほぼ同数で『国道127号～410号における雑草』となりました。

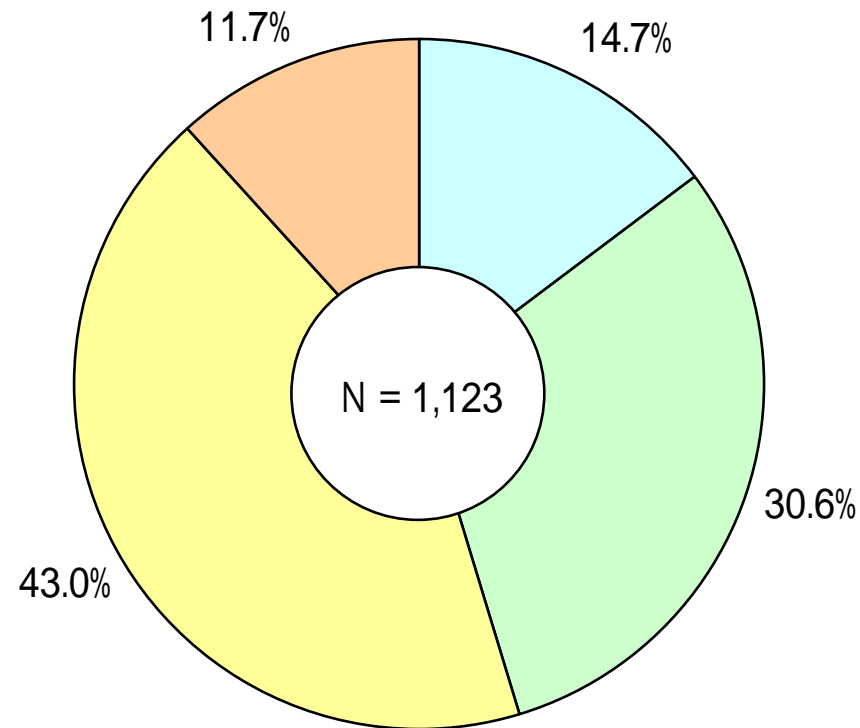
良いと思う景観(上位5つ)【総意見数:1,344】	意見数
鏡ヶ浦に沈む夕日、富士山	513(38.2%)
海や海岸線	196(14.6%)
城山公園、館山城	167(12.4%)
城山からの眺望	111(8.3%)
房総フラワーライン	59(4.4%)

悪いと思う景観(上位5つ)【総意見数:1,186】	意見数
海岸のゴミや沿岸の建物・構造物(海の家やテトラポット等)	170(14.3%)
国道127号～410号における雑草	168(14.2%)
屋外広告物や電柱	143(12.1%)
道路上のゴミや沿道の荒地等	108(9.1%)
北条海岸の景観	94(7.9%)

6 . 都市計画マスタープランへの参加意識について

6. 都市計画マスタープランへの参加意識について

『計画段階から積極的に参加したい』、『地区別懇談会等で計画案に対して積極的に意見を述べたい』といった、何らかの形で参加したい人と、『参加する意思はない』人が拮抗しています。



- 計画段階から積極的に参加したい
- 地区別懇談会等で計画案に対して積極的に意見を述べたい
- 参加する意思はない
- その他

7. 将来、望まれるまちのイメージについて

6. 将来、望まれるまちのイメージについて

『誰もが住みやすい』『観光都市』『自然を活かしたまち』が多く、次いで『働く場があるまち』『若者が住めるまち』となりました。

出された意見(上位10)【総意見数:1,680】	意見数
誰もが住みやすい町	253(15.1%)
観光都市	240(14.3%)
自然を活かしたまち	233(13.9%)
働く場があるまち	138(8.2%)
若者が住めるまち	132(7.9%)
医療・福祉が充実したまち	85(5.1%)
活力のあるまち	72(4.3%)
自動車中心からの脱却(公共交通の利便向上、歩けるまち)	68(4.0%)
商店街の活性化	65(3.9%)
暖かい心やモラル等、市民意識が高いまち	47(2.8%)